

小曲

夢ではないか

あなたは 目をつむつて ほほゑんでゐる

しづかに ランプが ともつてゐる

僕は 思ひ出した

いつか 僕は 雪の山道で ころんでゐた

太陽が ぎらぎら光つて 粉になつた

ふもとで うぐひすが ないてゐたつけ

いま あたたかい

あなたの まつ毛は ながく まぶたにかかつてゐる

馬車の中での やうだ

菩薩の やうだ

僕は 雪のしぶきを あびた時を わすれない

やさしい あなたも わすれない